

2023年度 社会福祉法人平成福社会事業計画

社会福祉法人平成福社会は2023年4月1日より 特養の入居者数を100床に増員、ショートステイは10床に減員し運営いたします。

入居定員が増えたことでより多くの方にご利用していただけるようにつとめていきます。またコロナ禍ではありますが、少しでも入居者様のご家族や地域とかかわりが持てるような環境を提供できるように考えながら支援をしていきたいと思ひます。

2021年、2022年と訪問介護にも力を入れてまいりました。今後も地域の方が住み慣れた場所でできるだけ暮らしていけるようサポートを継続いたします。

また在宅生活のサポートの一環として富洲原複合型サービスセンターの存在をもっと周知しデイサービスと合わせて、地域の方の暮らしをよりサポートできるように努めていきたいと思ひます。そのためにも各事業所の協力体制を強化していきます。

また、虐待防止や身体拘束廃止に目を向け、人格の尊重を行い、敬意を持って支援にあたることのできるよう、その研修と職員への周知に力を入れていきます。

入居者様が安心して施設で暮らせるよう、また在宅に住む利用者様が安全に在宅生活を続けられるよう温かい介護を目指していきます。

新型コロナウイルスを含む様々な感染症に対応できるような感染対策ルールやマニュアルの作成と周知そして更新も行っていきます。

新しい施設は斬新な形で、なおかつ明るく開放感があります。施設内で生活する入居者様が窮屈でなく自由で安全に生活していける空間を考えながら、ひとりひとりにあった環境の提供を目指します。また、地域の方が訪問しやすい、相談しやすい事業所となるよう努力していきます。

2023年度 介護老人福祉施設ヴィラ四日市事業計画

2023年度の接遇目標として『目と目を合わせ笑顔で伝える優しさ』とし、温かく活気があるユニット作りを目指します。

コロナウイルスの感染拡大に伴い対面で行えていなかった職員研修も状況をみながら再開し、職員のスキルアップを目指します。

また、コロナ対策の制限緩和に伴い、入居者様への感染リスクが高くなることが予測できるため、感染対策への意識を深め、入居者様が安心、安全に過ごすことができるよう次の取り組みを行います。

<目標>

- 1 各入居者様のADLやその時の状況に応じた支援を行う
- 2 落ち着いて穏やかな雰囲気過ごせる環境作り
- 3 笑顔や思いやりのある接遇の実施
- 4 事故防止に努める
- 5 利用者様の体調管理を行い、施設での生活が快適に送れるよう支援する
- 6 入居者様の人格を尊重し敬意を持った対応を行う

身体拘束や虐待防止について学び、入居者様にとって安心して安全な環境を提供していきます。

また、職員にとっても働きやすい環境となるよう努めます。アンケートや面談を実施し、職員にとって働きやすい環境も目指します。

まだまだコロナウイルスやインフルエンザなど感染症の予防は余談を許さない状況ですが、日々の生活の中で刺激となるよう行事の企画や実施をおこなっていきます。

家族の方に安心してもらえるように家族との信頼作りにも取り組んでいきます。

2023年度 ヴィラ四日市通所介護センター事業計画

【運営方針】

- ・利用者が住み慣れた地域、生活環境において安心して暮らすことのできるように個々に必要な機能訓練お飛び生活の援助を行う。
- ・利用者のニーズを聞き、利用者個人の人格を尊重した介護を行う。
- ・家族との交流を図り話しやすい雰囲気作りをすることで介護をする家族の精神的・身体的負担の軽減を図る。

【目標】

- ・昨年定員を43名に増員。1日平均稼働率を95%以上を維持する。
- ・個別レクリエーションの充実と、デイサービスに行きたいと思える環境作りを行う。
- ・介護力・認知症対応力の向上

※具体的な内容として

- ・各事業所や家族に毎月発行している広報誌の内容の充実と小さな変化でも気が付くことが出来る観察力とそれを伝えるコミュニケーション技術の向上を図る。
- ・利用者様の個々のレベルに応じ、できること・できないことの把握と、個人にあったレクリエーションを行うことで『つまらない場所に行く』という気持ちの解消を図る。デイを楽しみ場所だと思わせていただく。
- ・職員の勉強会、研修等の参加を通して介護力・認知症ケアの向上に取り組む。

【送迎】

- ・利用定員の増加に伴い、新規車両購入の検討
- ・安全運転を念頭においた走行
- ・車両の定期的な点検・整備を行い利用者の安全確保に注意を払う。

【感染対策・健康管理】

- ・利用者の健康状態を観察し、把握する。感染症予防のために適切な対応及び対策の徹底を図る。
- ・バイタル測定（日に2～3回程度）・手洗い ・手指消毒
- ・フロアー内換気 ・アルコール消毒
- ・体重測定 ・健康相談 ・状態観察 ・内服、外服の管理及び投与

2023年度 富洲原通所介護センター事業計画

ご利用者さまの要望にできるだけ応え、サービスの提供時間や送迎時間の拡大など幅広くご利用していただけるような柔軟な対応をしていきます。

環境を整備し、明るい施設を目指します。

『明日も来たい』『大切な人に紹介したい』と思っていただけるようなデイサービスを目指していきます。

【具体的な方針】

1 営業の強化

居宅介護支援事業所等への営業では、富洲原通所介護センターに興味・関心をもっていただけるよう、デイ通信等の広報誌による情報発信をしていきます。デイ激戦区でもあるため、営業人数も増員し対応していきます。コロナ終息後はデイサービスの雰囲気を知ってもらうために見学を積極的に実施していきます。

2 サービス内容の充実

毎日が特別な日と思っていただけるよう集団レクリエーションに加え、脳トレや手芸等、個々の求める楽しい取り組みを考え、実施していきます。

3 地域交流

介護相談員やボランティアの受け入れをしていくことにより、ご利用者様と交流をしていただく機会を提供します。

4 職員研修

ご利用者様・ご家族様と信頼関係を築けるよう、法人の理念である『家族で支える介護をサポートします』に基づいたスタッフの育成に力をいれていきます。

5 その他

- ・総合事業利用者への営業
- ・センターの改修（浴室・トイレの改修・照明の交換等）

2023年度 ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター (訪問介護事業計画)

要支援・要介護高齢者の方における在宅生活の維持、継続や独居高齢者の方の支援など、地域福祉の一端を担うための役割が訪問介護事業には求められています。慣れ親しんだ地域で安心していつまでも、暮らすことが出来るよう、目標として下記の3項目に力を入れ取り組んでいきます。

【 目標 】

1. 新規利用者確保

地域包括支援センターをはじめ、各居宅支援事業所等と連携や情報交換を密に取り、新規依頼時に当事業所を選んでいただくため普段から信頼関係を築いておくことで、毎月コンスタントに新規利用者の受け入れを維持していきます。また、緊急・困難事例なども積極的に受け入れていきます。

2. 満足できる在宅生活の継続のための支援提供

サービス提供責任者が支援訪問時に課題・評価抽出し、事業所に持ち帰り検討する。アセスメントの実施とそれをもとに、担当介護支援専門員と連携、相談、提案等の実施を行います。

3. 登録ヘルパー職員の確保と質の向上 ⇒ 人員確保への取り組み

勉強会の実施 1~2回/毎月

訪問介護の人員確保は国内どこに行っても大きな課題です。当事業所においても例外はなく、新規人員の確保は困難を極めています。少しでも、訪問介護という仕事の良さを感じることが出来るような、好感の持てるパンフレットなどを作成し積極的な人員確保に取り組んでいきたいと思えます。

また、職員教育においては、既存メンバー、新人メンバーそれぞれにおける、個別的な課題に向けたスキル向上のための計画を作成し、取り組んでいきます。

【 その他 】

・ヘルパー専用車の購入

この地域における要支援・要介護利用者様や、一人暮らしの利用者様が安心して暮らすことができるよう、訪問時には小さな変化にも気づけるよう注意して支援にあたり、離れて暮らすご家族様にも安心してご利用して頂けるよう努力します。

また職員が各々に訪問しサービスを提供するため、支援にバラつきがないように、情報共有を行い、利用者様一人一人に合った支援をさせていただきます。

最後に標準予防策を常に意識し各支援共に十分に留意し対応させていただきます。

2023 年度 ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター (居宅介護支援事業所事業計画)

2022年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、感染対策を強化しながら業務にあたり支援を継続してきました。2022 年度の感染再拡大に歯止めがかからない状況にあって、ウィズコロナの風潮が高まってきている中、支援を必要とされる方への対応を行っていかなくてはならない状況にあります。

ヴィラ四日市居宅介護支援事業所として、行政・地域包括支援センター・在宅介護支援センター・地域の関係者及び、医療関係者等との情報交換を密にしながら、支援を必要とする方々が「住み慣れた地域で自分らしく生活していく」ことができるよう居宅支援事業所としての役割を果たしていきます

ヴィラ四日市居宅介護支援事業所として

- 1 在宅で医療・介護を必要とされる方への支援を全力で行います。
- 2 地域の社会資源を有効に活用し、利用者様の「在宅で生活をしたい」を支援するために関係機関と連携をしながら支援をしていきます。
- 3 「介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）」についても、支援を必要とされる利用者様を可能な限り受け入れていきます。
- 4 地域包括ケアシステムの構築に向けた具体的な取り組みのなかで、地域ケア会議や医療・介護ネットワーク会議、各種研修などに積極的に参加していきます。

具体的な目標

- *当事業所で担当できるケース（介護給付・予防給付）は全て担当していきます。
- *認知症支援、看取り等これからも増え続けるとされる支援について、きちんとアセスメントを行い手厚く支援をしていけるような知識、援助技術等を習得しながら医療関係者とも緊密に連携を取りながら支援を実施していきます。
- *医療や介護の知識向上のための研修参加や、認知症ケアの理解及び対応方法の修得・周知、「住み慣れた地域でのライフプラン」に沿った、居宅サービス計画の作成技術向上等、介護支援専門員のスキルアップのための取り組みを実施していきます。

2023年度 富洲原複合型センター事業計画

看護小規模多機能型居宅介護（かんたき）は、『通い』『泊まり』『訪問介護』『訪問看護』の4つのサービスを必要に応じて組み合わせ、ご家族様と支え合いながら在宅生活を支援していきます。またどのサービスも共通したスタッフに関わるため、安心感につながります。2022年8月に登録数を29名に引き上げました。今後は地域の拠り所となるよう多くの方に利用していただけるよう努めていきます。

ご利用様が住み慣れた地域で在宅生活を継続していけるよう、今後も地域密着型サービスとして地域と連携し、ご利用様が満足できるサービスが提供ができるよう、職員間で連携をとり、質の良いサービスが提供できるよう職員のスキルアップに努めていきます。

<具体的な方針>

【営業活動】

近隣病院の地域連携室や居宅介護支援事業所等へ、サービスの特性や受け入れ状態のお知らせなどを定期的にご案内し、より多くの利用者様に利用いただけるよう働きかけていきます。

【サービスの内容】

医療依存度の高い人や退院直後で状態が不安定な人、在宅での看取り支援など、住み慣れた自宅での療養を支える介護保険サービスです。主治医との連携のもと、医療処置も含めた多様なサービス（訪問看護、訪問介護、通い、泊まり）を24時間365日提供します。

【地域交流】

地域で行われる行事への参加、地域への外出、奉仕活動など、地域の方との関わりをもちながら地域に根付いた事業所を目指します。

【職員研修】

全職員を対象に、様々な勉強会や研修を行い、利用者様。ご家族様と信頼関係が築けるスタッフ育成を実施していきます。